



TITLE:

京大東アジアセンターニューズレ ター 第513号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター

CITATION:

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター. 京大東アジアセン
ターニューズレター 第513号. 京大東アジアセンターニューズレター
2014, 513

ISSUE DATE:

2014-04-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/185323>

RIGHT:

目次

- 上海街角インタビュー ②⑤
- 【中国経済最新統計】

上海街角インタビュー ②⑤

社団法人大阪能率協会アジア・中国事業支援室副室長（海外委員）
順利包装集団董事（在上海）
福喜多技術士事務所所長
福喜多俊夫

「中国人は赤ワインが好き」

1 月 28 日付のロイター電は、中国がフランスとイタリアを抜いて世界一の赤ワイン消費国となったと報じた。2013 年に中国で飲まれた赤ワインは、ボトル換算で 18 億 6500 万本、9 リットルケース換算では 1 億 5500 万ケースとなり、5 年間で消費量が 136%増加したという。2 位はフランスの 1 億 5000 万ケース、以下、イタリア 1 億 4000 万ケース、米国 1 億 3000 万ケース、ドイツ 1 億 1000 万ケースと続く。白ワインやスパークリングワイン全体では中国は世界 5 位で、赤ワインの消費量だけが突出している。

一般の中国人はどの程度ワインに親しんでいるのか？ また、中国人はもともと赤色（中国では赤色は普通、紅色と表現する）が好きだが、圧倒的に赤ワイン（紅葡萄酒）が好まれるのは赤色好みが理由なのか？ 上海で聞いてみた。

1. 20 歳代後半の女性

最近友達が集まりとか、家族の会食とか、結婚披露宴とか、ワインは“常連”です。今の若い人はもう茅台酒など飲まないでワインを飲むことが多いです。飲むのはやはり赤ワインが多いですね。中国でボルドーなどフランスワインを飲むのは金持ちで、私たちは長城ワインなど国産の安いのを飲みます。中国のワインも結構おいしいですよ。金持ちは“ボルドー”という名前を飲んでます。

2. 40 歳代後半の男性

最近、若い人や年寄りには白酒（バイチュー）を避けています。ビールもよく飲みますが、ワインの人気が出てきました。

私自身はワインを買って飲むことは殆どありません。家では紹興酒を飲みます。でも、外では雰囲気に合わせて、日本人と飲むときは日本酒、同窓会などではワインも飲みます。特に女性が混じる会食ではワインが多く出ます。女性は年齢にかかわらずワインが好きなようです。皆さん、選ぶのは赤ワインです。白は殆ど飲みません。理由はよくわかりませんが、ワインは赤と思い込んでいないのでしょうか。

私は、中国にはまだワイン文化は育っていないと思います。興奮するとワインで一気飲みすることもあります。

3. 40 歳代前半の男性

私はワインが大好きです。家でもワインを飲みます。友人との会食でもワインが多いです。私もそうですが、私の友人連中も健康に気をつかう人が増えてきました。赤ワインに含まれているポリフェノールは健康によいので、皆、赤ワイン党です。

大学の同級生は、肉料理には赤、魚料理には白が基本ということは知っています。でもそれは公式の宴会だけ。仲間内では赤が基本です。

私は中国人のワイン文化は相当上がっていると思います。以前の中国人は、ワインは高ければいいと思っていましたが、高級ワインは税金がいっぱい掛かっていることが知られてきたので、他人のお金で飲む高級ワイン（贅沢禁止令で機会が減っているようだが）以外は国産のワインや安い外国産ワインを楽しむ人が増えています。

4. 40 歳代前半の男性

私や家族が家でワインを飲むことは殆どありません。私の周りでは会食でもワインを注文する人は殆どいません。取引先の総経理にワイン好きが 1 人いますが、私が自分で注文することはなく、薦められれば飲むだけです。

ただ、ワインは高級品というイメージがあるので、酒類を贈答品に選ぶときは圧倒的にワインが多いです。以前はスコッチやブランデーが贈答品でしたが、今ではフランスワインです。我家でも友人宅に招かれた際には、妻は必ず赤ワイン（海外産）を持参します。白ワインは持って行きません。赤の方が縁起がいいです。

料理によって赤、白を飲み分けることを知っている中国人はあまりいないと思います。中華料理店も最近はワインを置いているところが増えましたが、赤が殆どで白を置いているところは少ないのではないですか。

5. 40 歳代中頃の女性

私は赤ワインも白ワインも好きです。でも、上海で白ワインのおいしいのを見つけるのは難しいです。白ワインは海外出張のとき楽しむだけで、上海ではもっぱら赤です。

（高級レストランやホテルのバーには白のおいしいのがあるかも知れないけれど、とても高い）

料理によって赤と白を飲み分けることは知っていますが、上海では赤オンリーです。

私が赤ワインを愛用している最大の理由は健康にいいからです。大部分の上海人は、ワインを飲むことに理由はないと思います。単純にファッションだから飲んでいただけだと思います。

6. 40 歳代中頃の女性

私も主人も普段、家ではお酒を飲みません。でも、友人や親戚とパーティーをやる時はワインを出します。自分で買うときは国産赤ワインです。白より赤ワインの方が場が華やぎます。そうですね、ワインを出すようになったのは数年前からです。それまではビールで乾杯して、紹興酒が多かったです。（私の主人は紹興の出身です）最近では友人宅でもワインが出ることが多くなって、我家でも自然にワインを出すようになりました。

7. 60 歳代の男性

私はビール専門だけど、家内はレストランでもワインを注文することが多いです。グラスワインで赤を注文しています。白を飲んでいるのを見たことがありません。ワインは赤だとおもっているのではないかな

8. 20 歳前半の女子大生

家ではお酒は飲みませんが、友達とパーティーをやる時はワインを飲みます。いつも赤ワインです。私達若者は、今や紹興酒や白酒は飲みません。パーティーにはワインというのが定番です。ワインが好きかと問われれば、ハイというより、場の雰囲気盛り上げる小道具といったほうが正しいと思います。

確かに上海でもワインがポピュラーになっているのが感じられた。特に若者と女性に人気があるようだ。カルフルやシティスーパーマーケットなどのワイン売場も充実している。しかし、赤ワインが圧倒的に多かった。もっとも赤ワインが相対的に多いのは日本も同じで、伊勢丹のワイン売場もドイツワインは白が多かったが、全般には赤が主流であった。

中国人の“赤ワイン好き”というのも選択肢が赤しかないというところが大きそうである。

一時期、中国人がボルドーのワイナリーを次々と買収して話題になったが、習近平国家主席の“贅沢禁止令”で高級ボルドーワインの売れ行きが落ちているようだ。ワインが富裕層のステータスから庶民の楽しみになったとき、中国にもワイン文化が根付くことだろう。それは案外早いかもしれない。

以上

【中国経済最新統計】

	① 実 質 GDP 増加率 (%)	② 工業付 加 価 値 増加率 (%)	③ 消費財 小売総 額増加 率(%)	④ 消費者 物価指 数上昇 率(%)	⑤ 都市固 定資産 投資増 加 率 (%)	⑥ 貿易収 支 (億ドル)	⑦ 輸 出 増加率 (%)	⑧ 輸 入 増加率 (%)	⑨ 外国直 接投資 件数の 増加率 (%)	⑩ 外国直 接投資 金額増 加率 (%)	⑪ 貨幣供 給量増 加 率 M2(%)	⑫ 人民元 貸出残 高増加 率(%)
2005 年	10.4		12.9	1.8	27.2	1020	28.4	17.6	0.8	▲0.5	17.6	9.3
2006 年	11.6		13.7	1.5	24.3	1775	27.2	19.9	▲5.7	4.5	15.7	15.7
2007 年	13.0	18.5	16.8	4.8	25.8	2618	25.7	20.8	▲8.7	18.7	16.7	16.1
2008 年	9.0	12.9	21.6	5.9	26.1	2955	17.2	18.5	▲27.4	23.6	17.8	15.9
2009 年	9.1	11.0	15.5	1.9	31.0	1961	▲15.9	▲11.3	▲14.9	▲16.9	27.6	31.7
2010 年	10.3	15.7	18.4	3.3	24.5	1831	31.3	38.7	16.9	17.4	19.7	19.8
2011 年	9.2					1549	20.3	24.9				
10 月		13.2	17.2	5.5	34.1	170	15.8	29.1	-0.6	8.7	16.7	14.1
11 月		12.4	17.3	4.2	21.4	145	13.8	22.6	-12.9	-9.8	16.2	14.0
12 月	8.9	12.8	18.1	4.1	5.7	165	13.3	12.1	-15.4	-12.7	17.3	14.3
2012 年						2303	7.9	4.3				
1 月				4.5	25.3	273	-0.5	-15.0	4.6	10.8	16.6	14.8
2 月		21.3		3.2	—	-315	18.3	40.3	38.7	-0.9	17.8	15.0
3 月	8.1	11.9	15.2	3.6	21.1	53	8.8	5.4	-6.5	-6.1	18.1	15.7
4 月		9.3	14.1	3.4	19.2	184	4.9	0.4	-26.1	-0.7	17.5	15.4
5 月		9.6	13.8	3.0	21.0	187	15.3	12.7	-6.1	0.0	17.9	15.7
6 月	7.6	9.5	13.7	2.2	21.8	317	11.3	6.3	-16.3	-6.9	18.5	16.0
7 月		9.2	13.1	1.8	20.6	251	1.0	5.7	-7.8	-8.6	18.9	16.0
8 月		8.9	13.2	2.0	19.4	267	2.7	-2.7	-12.7	-1.4	18.4	16.1
9 月	7.4	9.2	14.2	1.9	23.1	277	9.8	2.3	-6.4	-6.8	19.8	16.2
10 月		9.6	14.5	1.7	22.4	320	11.5	2.2	1.8	-0.2	14.6	15.9
11 月		10.1	14.9	2.0	20.0	196	2.8	-0.1	-8.7	-5.4	14.5	15.7
12 月	7.9	10.3	15.2	2.5	18.8	316	14.0	6.0	-7.8	-4.5	14.4	15.0
2013 年												
1 月				2.0	20.8	291	25.0	29.0	-12.4	-3.4	15.9	15.4
2 月				3.2		153	21.7	-14.9	-35.6	6.3	15.2	15.1
3 月	7.7	8.9	12.6	2.1	21.5	-9	10.0	14.2	-19.7	5.7	15.7	14.9
4 月		9.3	12.8	2.4	19.8	182	14.6	16.6	13.9	0.4	16.1	14.9
5 月		9.2	12.9	2.1	19.7	204	0.9	-0.1	-14.4	0.3	15.8	14.5
6 月	7.5	8.9	13.3	2.7	19.9	271	-3.3	-0.9	-17.3	20.1	14.0	14.1
7 月		9.7	13.2	2.7	20.2	178	5.1	10.8	1.2	24.1	14.5	14.3
8 月		10.4	13.4	2.6	21.4	285	7.1	7.1	-11.7	0.6	14.7	14.1
9 月	7.8	10.2	13.3	3.1	19.6	152	-0.4	7.4	-16.8	4.9	14.2	14.3
10 月		10.3	13.3	3.2	19.2	311	5.6	7.5	-8.2	1.2	14.3	14.1
11 月		10.0	13.7	3.0	17.6	338	12.7	5.4	-9.3	2.3	14.2	14.2
12 月	7.7	9.7	13.6	2.5	17.2	256	4.3	8.6	-3.4	-42.6	13.6	14.1
2014 年												
1 月				2.5		319	10.5	10.8	-8.6	-4.5	13.2	14.3
2 月				2.0		-230	-18.1	10.4	1.3	4.0	13.3	14.2

注：1. ①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。

2. 中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1 月と 2 月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、() 内の数字は 1 月から当該月までの合計の前年同期に対する増加率を示している。

3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の 86%（2007 年）を占めている。⑥—⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。

出所：①—⑤は国家統計局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。